

令和5年10月19日
14:00~15:00
定期巡回のクローバー
(山科事務所)

令和5年度 第2回 定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス 介護医療連携推進会議録

参加者:末國氏(勸修学区社会福祉協議会副会長)、長谷川氏(勸修学区老人福祉委員)【欠席】、
鶴飼氏(訪問看護ステーション仁)、萩原氏(勸修地域包括支援センター)、末田氏(すばる居宅)、
岩原氏(クローバー24居宅)、星野・立脇・嶋田(クローバー) (順不同) 記録:嶋田

(1) クローバー挨拶・構成員紹介(別紙有り)

- ・資料確認:構成員名簿、周知活動時配布資料(両面2枚)
- ・構成員紹介
- ・クローバー挨拶

代表星野より挨拶

2024年の介護保険の改正について。2割負担の方の範囲拡大。原則2割負担という話も出ている。全体の25%という予測も出ている。本当に必要な方がサービスを受けられなくなったり、利用負担が上がることでカスタマーハラスメントや、自立支援よりもなんでもやってくれる事業所が選ばれるようになってしまわないか、などの懸念があるが、今後も選ばれる事業所を目指して尽力したい。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いします。

(2) 前回の会議からの山科事務所の動向

- ・山科の利用状況について

R5年3月 11件 **R5年9月 13件**

新十条通りから北側を山科事務所の対象とする。

15件ほどになる事もあるが看取りや入所待ちなども有り、あまり増えない状況。前回の会議の際、長谷川様からお話し頂いたご利用者はあの後弊社に依頼があり、看取りとして活動を行った。

先日「山サポ」の懇親会に参加したが、徐々に周知できているように感じた。人材確保とともに、質の高いサービスを提供し、地域での認知度を上げていければと思っている。

チームケアについて・・・今期よりチーム型定期巡回を試験的に行っている。チームケアとは弊社と他の訪問介護事業所が委託契約を行い、定期巡回の定期的な活動を委託事業所に行って頂く。ヘルパーステーションれんげそうさんと業務委託を結んで頂いている。

メリット：今利用されている訪問介護事業所をそのまま定期巡回で利用することが可能になることで慣れたヘルパーが継続して支援を続けられ、利用者の混乱を防ぐことができる。また、ご利用者の状態が安定し、再度訪問介護で在宅生活を継続する事が可能な状態になれば、その時はサービスに入っている事業所が引き継ぐことが出来、ご利用者の混乱などの負担が少ない。

クローバー 2 4 居宅介護支援事業所の活動

- ・ 1名増員になった。
- ・ 一年で60～70名のご相談を受けた。増員により新たにご相談を受けられるかと思っている。

地域への活動

- ・ ふれあいカフェ「レインボーカフェ勉強会」に参加し介護保険についての話をを行った。
- ・ 9月24日山科ふれあいの集い参加。

今年度醍醐地区において池田東学区の健やか学級に参加させて頂いた。

6月に弊社居宅の管理者岩原による「介護保険について」

9月は代表星野による「軽度認知症」の話をを行った。

11月は福祉用具「しまだ」さんのご協力を得て、ユニ・チャームさんより排泄についてお伝えする予定。

勸修健やか広場について・・・長谷川氏：勸修小学校北校舎で第四土曜日に「すこやか広場」詐欺など生活上の注意事項の喚起や15分程度の体操、座談会やゲストを呼んで音楽鑑賞のようなことをしている。第一は筋トレ（14時から15時）、第二は物作り、第三は健康すこやか学級で絵手紙など作成したり塗り絵をしたりしている。10時から11時。第四土曜日の参加者が一番多いと前回の会議で聞いているが、参加させて頂く事は可能か？
→山科では契約年など決まっておらず、すでに固定された実施先があるので主催者や会長に要確認。広報というより、その場で相談があれば受けてほしいというスタンスで包括は参加している。みなさん楽しみに来られているので、広報という形ができるかはわからない。
☆地域活動にご協力できればと思っているので、なにかしら機会があれば申し付けて頂きたい。

(3) 周知活動について(資料 2)

・ 最低1回は醍醐地区か山科地区の居宅支援事業所を訪問し、定期巡回の周知活動を行っている。今回は居宅支援事業所に加え、チームケアの周知のため訪問介護事業所にも訪問を行った。

(萩原氏) 訪問介護事業所、訪看、精神の訪看が新規で増加している。

(鵜飼氏) 6年前、訪看は6か所しかなかったのが、今は26か所になっている。

(鵜飼氏) 山科区の訪問看護の連絡会を立ち上げた。まだなかなか参加してもらえないのが現状。

(4) 人材育成について

- ・法令研修についてはネット研修。救命救急研修は消防署の研修を受講。
- ・対面による研修・・・山科出張所3階にベッド、車いす、クッションなどを用意した研修室の設置し、排泄の研修、トランスファー技術向上研修を行った。

研修室の利用は他の事業所にも貸し出し可能な状態で醍醐事業所連絡会では連絡を行ったがまだまだ周知が出来ていない。

11月24日14時から研修室で「救命救急講座」を消防署に来て頂き行う。地域の方や居宅などもし良ければご参加頂きたい。定員10名先着順となるのでよろしくお願い致します。

(5) 医療との連携、地域の課題

医療との連携・・・

訪問看護にも勉強会の機会を設けたいと考えているがこの半年は働きかけを行う事が出来ていない。

訪看からは看取りなどの依頼を頂く事がある。連携をしているの課題と感じるところはあるか？

(鵜飼氏) 定期巡回の必要性を説明するが、チームを入れ替えないといけない人や単位数の問題、訪問入浴が月2回しか入れないので保清が課題になっているように見える。

(末田氏、萩原氏) これまでは訪問介護というより、訪問看護に一手に看取りは担ってもらってきた。緩和ケアに移行することも多かった。単位数がギリギリになるので、そこで動いていけないといけないストレスも大きい。

(鵜飼氏) 医療なら利用者負担は8,000円程度だから、となるが一日2回3回の訪問が必要で人間的なキャパがあり、複数件を支えることができない。緩和ケアも10年ほど前の情報だが月30万円ほどかかる。在宅で過ごす方がかかる費用は安いのが実情。

訪看から依頼のある方はCM自身から依頼が無い状態でのことが多いが、訪看としてCMの意識をどう感じるか？

CMから依頼が無いのはまだまだ定巡の周知不足に原因があるのか？

(岩原) →定期巡回というより、まだまだ在宅で看取りを迎えるという考えになりにくい社

会的な課題のように考えられる。

地域の課題・・・

コロナがじわじわ増加しているような感覚はあるが、地域の行事など活動状況はどうか？

→（末國氏） 6、7割くらい戻ってきている印象。

（萩原氏） どんどんとコロナ前に戻していつている。地域住民の活動の方がよりスピーディーに戻っている印象がある。

（末國氏）

- ・ふれあい広場、盛況のうちに終了した。今年残りも諸々行事がある。
- ・振り込め詐欺が未だにもものすごく増加している。昨年よりも増えており、山科でも13件起きている。証券やお墓の購入の話を使ったものなど手口が増えているよう。機会あるごとに注意喚起をしてほしい。おかしいと思えば山科署生活安全課に連絡してもらいたい。
- ・防災訓練など行うので、町内会には是非加入してほしい。

山科地区は高齢化率 NO.1 であるが、地域でサービスに繋がることなく、困っておられる高齢者をどのようにしてサービスに繋げていくかが課題だと考えるがどうか？

→次回、検討させてもらえればと思います。

（6）その他

- ・次回開催は令和6年4月を予定しています。よろしくお願いいたします。